

[参考・2月（確報）]
規格外等の農水産物、
欠品及び過剰包装
に関する意識調査結果

令和2年3月18日（水）



注)規格外等の農水産物、欠品及び過剰包装に関する意識調査結果は、物価モニター調査の2月調査のみの設問であったため、2月調査から当該意識調査部分を抜粋し、確報として数値を更新した上で、参考として公表するものである。

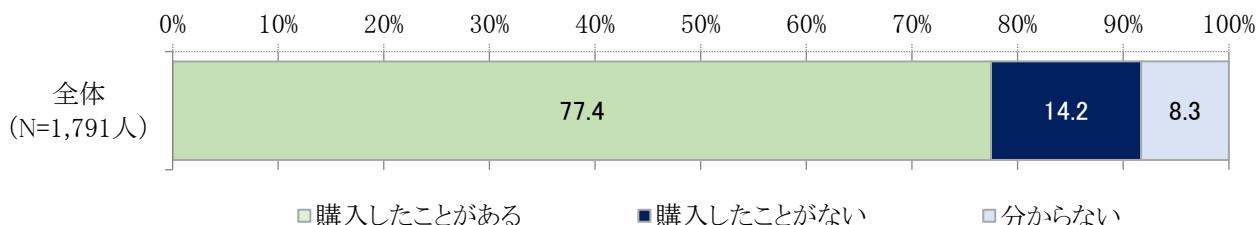
1. 意識調査結果

国内で生産される農産物は、大きさ、色、形等、一定の規格に基づき出荷・販売されています。

これに対し、規格外の野菜や自然災害等で傷ついた果物、知名度が低かったり獲れ過ぎたりした魚などは、利益につながりにくいため、品質には問題がなくても、流通・小売段階で廃棄されることがあります。

こうした「規格外等の農水産物」について、お伺いします。

問1 あなたは、規格外等の農水産物を購入したことがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

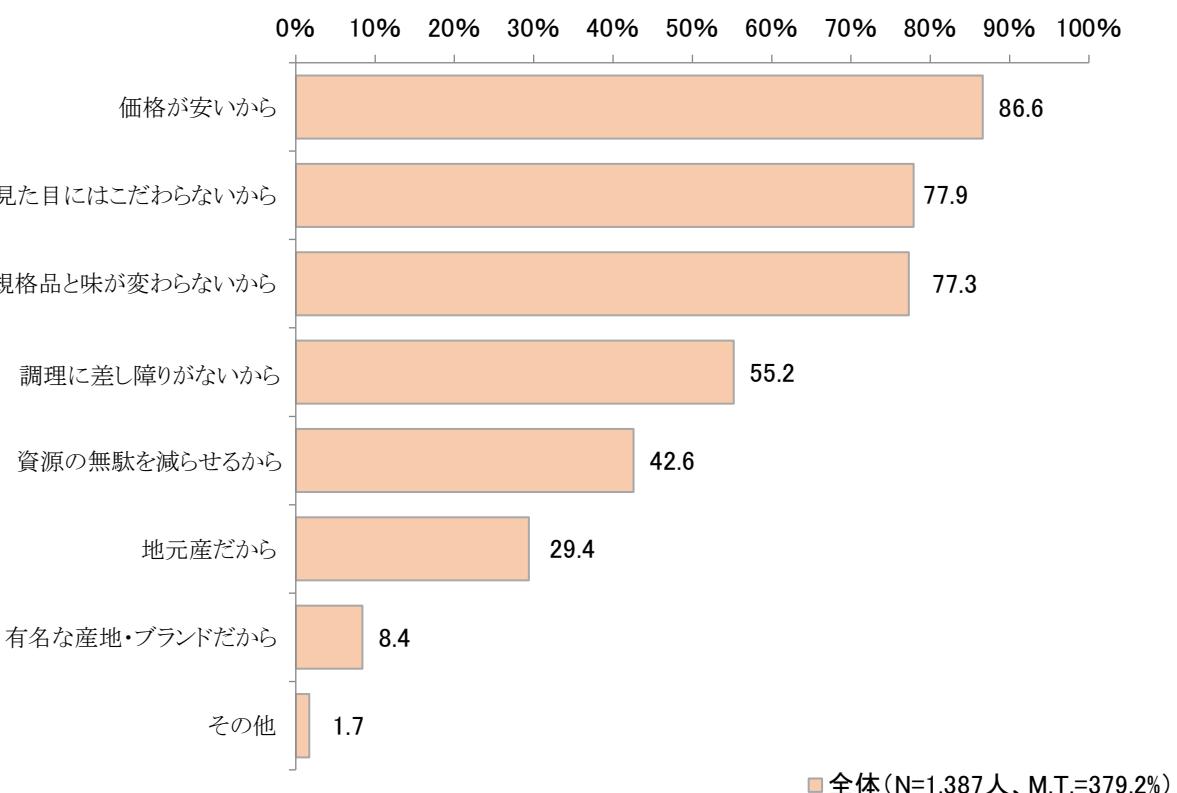


(問1で「1 購入したことがある」を選んだ方がお答えください。)

問2 あなたが規格外等の農水産物を購入した理由は以下のいずれでしょうか。

該当するものを全て選んでください。

回答者数の割合(%)

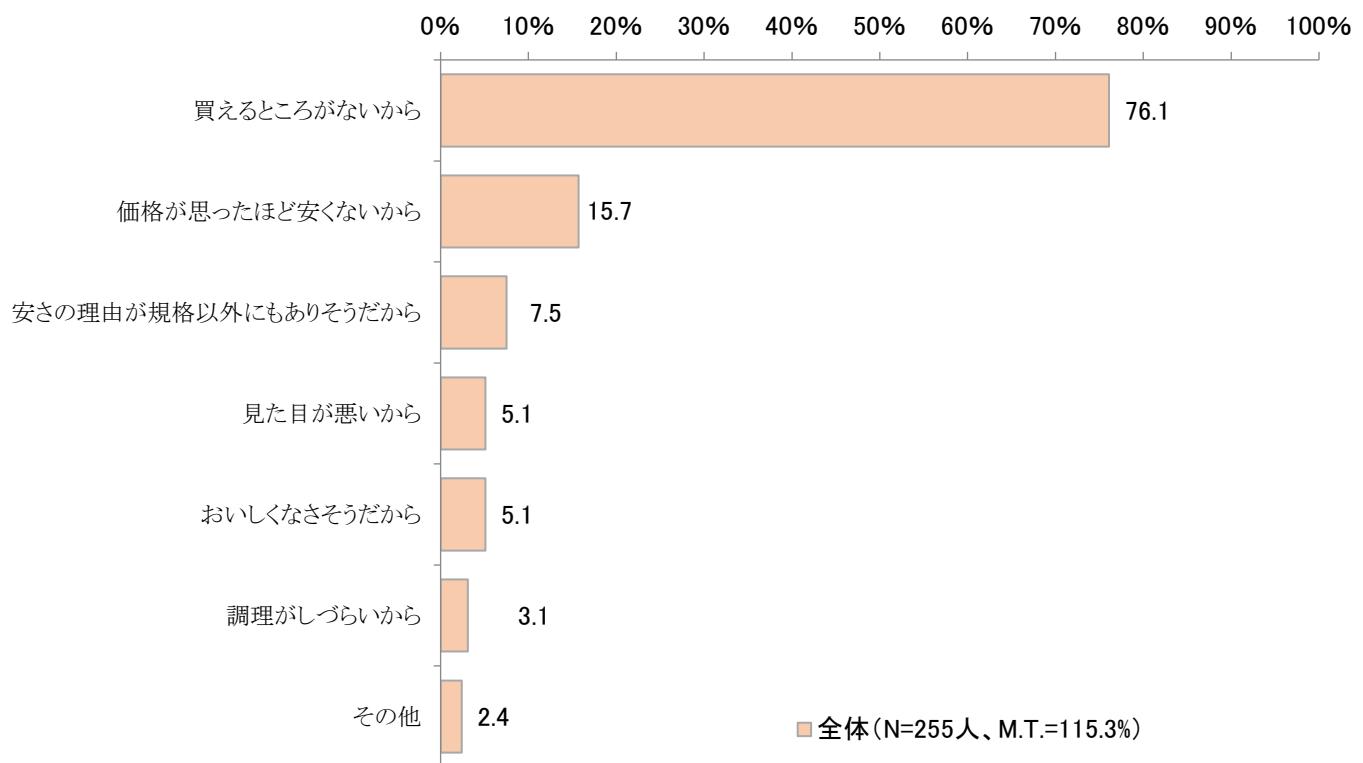


(問1で「2 購入したことがない」を選んだ方がお答えください。)

問3 あなたが規格外等の農水産物を購入したことがない(購入していない)理由は以下のいずれでしょうか。

該当するものを全て選んでください。

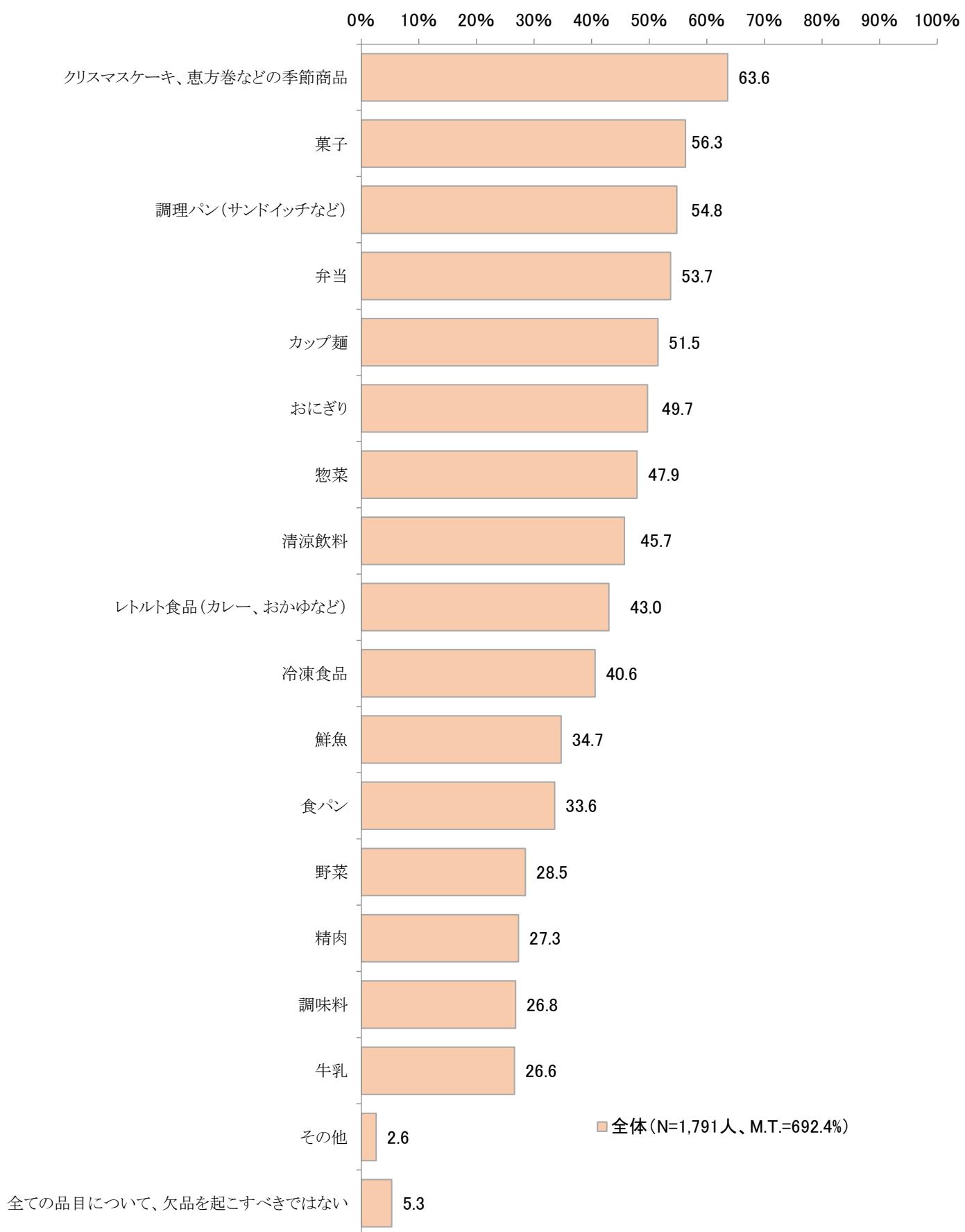
回答者数の割合(%)



次に、普段のお買物についてお伺いします。

問4 あなたは、スーパー・マーケットやコンビニエンスストア等に以下の食料・食材を買いに行った際、
買ったかったものが欠品していたとしても、やむを得ないと思えるものはどれですか。
該当するものを全て選んでください。

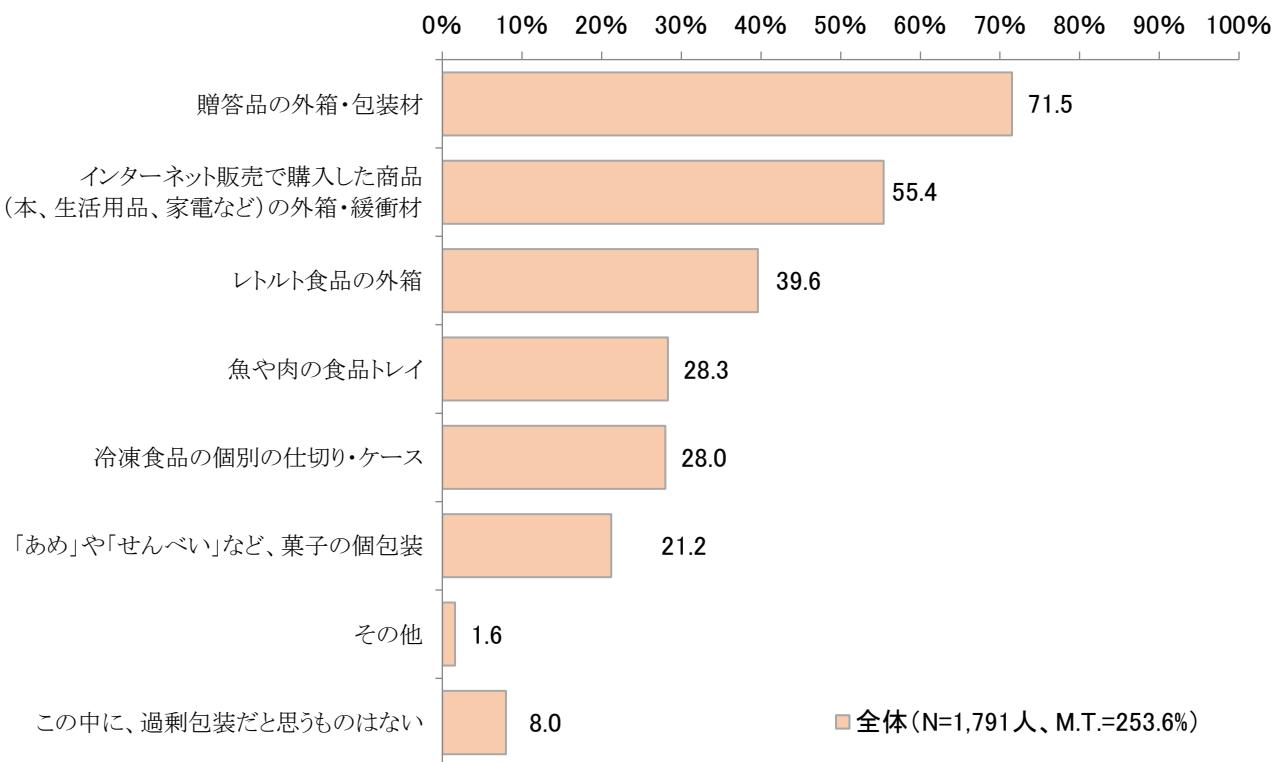
回答者数の割合(%)



問5 あなたが普段お買物をする際、以下のうち「過剰包装」だと思うものはどれですか。

該当するものを全て選んでください。

回答者数の割合(%)



2. 2月調査(確報)の回答者の属性

2月調査の回答者数:1,791人

①性別

男性	569人 (31.8%)
女性	1,222人 (68.2%)

②年齢

20～29歳	21人 (1.2%)
30～39歳	184人 (10.3%)
40～49歳	548人 (30.6%)
50～59歳	583人 (32.6%)
60～69歳	330人 (18.4%)
70歳以上	125人 (7.0%)

③職業

正社員	520人 (29.0%)
正社員以外の被雇用者	516人 (28.8%)
会社、団体などの役員	14人 (0.8%)
自営業	69人 (3.9%)
専業の主婦・主夫	483人 (27.0%)
学生	7人 (0.4%)
無職	151人 (8.4%)
その他	31人 (1.7%)

④居住地方

北海道	74人 (4.1%)
東北地方	129人 (7.2%)
関東地方	618人 (34.5%)
北陸甲信越地方	117人 (6.5%)
中部地方	212人 (11.8%)
近畿地方	296人 (16.5%)
中国地方	105人 (5.9%)
四国地方	51人 (2.8%)
九州・沖縄地方	189人 (10.6%)

⑤居住形態

単身	142人 (7.9%)
二人暮らし	590人 (32.9%)
三人暮らし	518人 (28.9%)
四人暮らし	393人 (21.9%)
五人以上	148人 (8.3%)

⑥世帯年収

300万円未満	264人 (14.7%)
300～500万円	461人 (25.7%)
500～700万円	485人 (27.1%)
700～1,000万円	368人 (20.5%)
1,000万円以上	212人 (11.8%)